

島根県立三刀屋高等学校掛合分校 「重点目標に係る学校評価」(令和6年度末)

			R4	R5	R6 アンケート結果							自己評価			学校関係者評価					
			評点	評点	3以上	評点	3以上	4	3	2	1	0	1年	2年	3年	評価	結果分析(「○」で示す)と改善の方向(「△」で示す)	評価	コメント	
1 確かな学力の育成	(1)身近な達成目標や節目の設定 (2)小さな達成の積み重ね (3)授業改善、ICT機器・図書館利活用の促進	教職員	教育活動全体を通して、主体的に学ぼうとする意欲や粘り強く取り組む姿勢を育成することができたか。	3.2	3.3	3.3	3	8	0	0					3.2 (A)	・地域をフィールドとした探究学習や学校行事等を通じて、生徒たちに主体的に学ぼうとする意欲や粘り強く取り組む姿勢づくりを促すことができた。特に、2年生は地域貢献学習と海外研修旅行をタイアップし、雲南ブランド米応援プロジェクトとして初めて台湾でPR活動を行い、主体的に活動する姿が多く見られた。 ○各教科の学びにおいて、教科横断的な取組や課題の提示方法など、生徒が自ら学びたいと思える仕掛けを工夫していき。また、教科全体に関わる指導目標や評価方法を引き続き検討し、共通理解を図っていき。 ・ICT機器の活用や各種検定試験合格を目指した取組なども含めて、あらゆる面から授業改善に向けた取組をすることができた。また、全生徒が一一人一端末を持ち、それを活用した授業等に取り組んだ。引き続き、その活用策を研究し、実践していき。 ○家庭学習の定着に向けて、学習アプリ「すらら」を活用したり、提出期限を厳守したりして、意欲的に課題へ取り組ませたい。また、校内での授業互見や、他校、近隣小・中学校への授業見学などの機会を増やし、授業研究に向けた情報共有の場を広げたい。	3.2 (A)	・小・中学校の授業においてもICT機器を活用している。保小中でも授業を互いに見合う機会が増えている。生徒が参観に来る機会があってもよい。 ・ICT機器を当たり前にするという習慣をつけることが大事である。 ・発表等においてICT機器、DXハイスクール購入機器の有効活用をしてほしい。 ・パソコン同好会には中学校での町おこしイベントにも来ていただいた。eスポーツには憧れを持つ中学生もいた。 ・黒板を書いたりノートを取ったりすることは大切なことである。どのような授業展開でどのような授業を目指すのが大事である。DXハイスクールに期待したい。 ・2年生が台湾へ行ってお米を販売したという学習・体験は、子どもたちにとって学びが多かったものと思われる。今後何かにつながる教育活動の結果が期待される。		
		生徒	あなたは、学校生活を通して、自ら考え、自ら行動する意欲が高まりましたか。	3.2	3.1	87%	3.1	89%	16	39	6	1	5	3.0					3.3	3.1
		保護者	お子さまは、学校生活を通して、自ら考え、自ら行動する意欲が高まりましたか。	3.0	2.9	70%	3.2	91%	21	40	6	0	3	3.1					3.3	3.3
		教職員	基礎学力の定着を図り、学習指導を充実させたか。(授業の徹底・わかる授業・各種テスト・資格試験・授業時間の確保・点上会・長期休業中の進進者対策・学習アプリ等)	(3.2)	3.5	3.5	5	6	0	0										
		生徒	あなたは、授業を通して、以前よりも基礎学力がついた実感がありますか。	3.3	3.2	91%	3.2	86%	23	32	9	0	3	3.1					3.4	3.2
		保護者	お子さまは、学習指導を通して、以前よりも基礎学力が高まりましたか。	3.0	2.9	71%	3.2	84%	23	34	11	0	2	3.2					3.2	3.1
2 キャリア教育の推進「掛高版キャリア教育」	(1)地域・社会貢献意欲の向上 (2)地域と結びついた学び (3)異世代や他文化との交流	教職員	上級学校・企業・関係諸機関との連携を密にし、望ましい職業観・勤労観の育成に努めたか。	3.5	3.7	3.6	7	4	0	0					3.3 (A)	・将来の希望する職種に合わせた職業体験学習や、地元を主とした企業との連携を図ることができた。3年生保護者の評点が下降した(R5 3.2→R6 2.8)。昨年度5月に実施した進路説明会を今年度実施できなかったことがその大きな原因か。他学年に比べて最も細かく情報発信したつもりであった。 ○保護者にタイムリーに情報が伝わるように、説明会等を行っていき。また、1・2年生保護者への情報提供の仕方なども検討していき。保護者から気軽に問合せできる仕組み作りを検討したい。 ・3年間を通じて、地域をフィールドとした探究学習(1年生地域探究学習(伝統芸能体験、地域課題解決)、2年生地域貢献学習(ブランド米販促活動)、3年生地域創造学習(卒業研究発表))を実践し、特色ある取組が定着したかと思われたが、生徒の肯定的回答率が各学年とも昨年度より大きく下降した(1年84%→70%、2年82%→72%、3年100%→90%)。 ○探究学習の計画から見直しを図る必要がある。これまで先輩たちが蓄積してきたノウハウを継承しつつも、自分事化した取組が実践できるよう促していき。 ・コロナ禍を経て、地域行事等へようや参加できるようになった。探究学習等を通じて生徒の地域へのつながり意識が年々向上していると感じており、生徒の肯定的回答率が学年が上がるにつれて上昇した(R5 1年50%→R6 2年65%、R5 2年61%→R6 3年75%)。 ○地域行事への参加により得られる自己有用感や達成感、連帯感の高まりを期待して、自主的、積極的に参加を促したい。DXハイスクール事業での異校種間連携の機会や、雲南市スペシャルチャレンジ事業への参加者も増やしていき。 ・評点の高い方から順に、生徒(3.1)→保護者(3.0)→教職員(2.9)となっており、生徒は基本的な生活習慣が身につけていると感じることがうかがえる。教職員は生徒の言葉遣いにも少し習慣づけと意識づけをさせる必要があると感じている。 ○朝礼・終礼時、授業の開始・終了時、職員室への入室時等の具体的な場面において引き続き指導していき。また、生徒会の協力も得ながら、生徒の主体的な活動を取り入れ検討していき。 ・学校の特色ある取組や地域との関わり、教職員の個々の生徒への日々の声かけや丁寧な対応などにより、生徒たちの成長ぶりをみることもできた。特に、体育祭や文化祭への積極的な取組や、探究学習等の発表会等の場面でそれを感じた。 ○体育館・グラウンドの関係もあるのか部活動への加入率が低いことが気になる。生徒の個々の状況の把握に努め、引き続き生徒の長所や能力を引き伸ばしていける声かけ等を心がけていき。 ・学校としては、生徒たちが仲間や教職員、保護者・地域の力を借りながら、学び喜びや協働して課題解決に取り組む喜びを感じること、自分に自信を持ち、地域・社会で活躍する人材として巣立っていくことを目指していき。教職員はそれを日々応援している。3年生は学校全体のサポート体制のもと全員が希望する進路を実現することができ、生徒の自信につなげることができた。 ○教育活動全体を通して、生徒自身の視野を広げ、様々なことに取り組む積極性を高めていき。その生徒の変容ぶりは面談等で保護者に伝えていき。 ・相談体制が充実してきている。 ・外観などもきれいになって、様々な関わりができて、施設設備の整備が図られている。 ・生徒記述に寮のこと、規則について触れられていた。 ・人権同和教育に関しても、きめ細かく対応がなされている。				
		生徒	あなたは、体験的活動(職場体験、地域学習など)や進路ガイダンスを、自分の進路を考える際の参考にしていますか。	3.4	3.2	91%	3.2	85%	22	33	8	2	2	3.1			3.2	3.2		
		保護者	学校は、お子さまに進路についての適切できめ細かな指導を行っていますか。	2.9	2.9	80%	3.1	86%	17	39	5	4	5	3.3			3.0	2.8		
		教職員	地域と結びついた学びを促進し、地域や社会に貢献しようとする意欲を育成できたか。	3.5	3.6	3.5	6	5	0	0										
		生徒	あなたは、地域活動や探究学習を通して、地域や社会に貢献しようとする意欲が高まりましたか。	3.2	3.1	90%	2.9	77%	10	37	12	2	6	2.8			2.9	3.0		
		保護者	お子さまは、地域活動や探究学習を通して、地域や社会に貢献しようとする意欲が高まりましたか。	3.0	2.9	78%	3.0	81%	13	39	11	1	6	3.0			3.0	3.1		
		教職員	地域(保育所や小学校など含む)との交流やボランティア活動を通して、生徒の自己肯定感を高めることができたか。	3.2	3.5	3.5	6	5	0	0										
		生徒	あなたは、地域(保育所や小学校など含む)との交流やボランティア活動に積極的に参加していますか。	2.9	2.8	66%	2.8	67%	11	30	18	2	6	2.8			2.7	3.0		
		保護者	学校は、地域(保育所や小学校など含む)との交流やボランティア活動を積極的に進めていますか。	3.2	3.1	92%	3.3	97%	19	46	2	0	3	3.4			3.2	3.1		
		教職員	あいさつ、言葉遣い、マナーやモラルの指導など、生徒の基本的な生活習慣の確立のための有効な指導ができたか。	(2.9)	3.2	2.9	1	8	2	0										
		生徒	あなたは、学校生活を通して、基本的な生活習慣(あいさつ、時間の厳守、言葉遣いなど)が身につきましたか。	3.3	3.1	88%	3.1	88%	14	43	7	1	2	3.0			3.2	3.0		
		保護者	お子さまは、学校生活を通して、基本的な生活習慣(あいさつ、時間の厳守、言葉遣いなど)が身につきましたか。	2.9	2.8	73%	3.0	86%	8	51	10	0	1	3.0			3.0	3.0		
3 自己表現のできる環境づくり	(1)部活動や行事への参加 (2)生徒会や生徒会の活動の推進など生徒主体の活動の活性化 (3)活躍の機会や場の創出と積極的発信	教職員	教育活動全体を通して、心身ともに健康でたくましい生徒の育成に努めたか。	3.3	3.3	3.1	3	6	2	0					3.1 (A)	・学校の特色ある取組や地域との関わり、教職員の個々の生徒への日々の声かけや丁寧な対応などにより、生徒たちの成長ぶりをみることもできた。特に、体育祭や文化祭への積極的な取組や、探究学習等の発表会等の場面でそれを感じた。 ○体育館・グラウンドの関係もあるのか部活動への加入率が低いことが気になる。生徒の個々の状況の把握に努め、引き続き生徒の長所や能力を引き伸ばしていける声かけ等を心がけていき。 ・学校としては、生徒たちが仲間や教職員、保護者・地域の力を借りながら、学び喜びや協働して課題解決に取り組む喜びを感じること、自分に自信を持ち、地域・社会で活躍する人材として巣立っていくことを目指していき。教職員はそれを日々応援している。3年生は学校全体のサポート体制のもと全員が希望する進路を実現することができ、生徒の自信につなげることができた。 ○教育活動全体を通して、生徒自身の視野を広げ、様々なことに取り組む積極性を高めていき。その生徒の変容ぶりは面談等で保護者に伝えていき。 ・相談体制が充実してきている。 ・外観などもきれいになって、様々な関わりができて、施設設備の整備が図られている。 ・生徒記述に寮のこと、規則について触れられていた。 ・人権同和教育に関しても、きめ細かく対応がなされている。				
		生徒	学校は、授業や学校行事・部活動を通して、生徒が心身ともに健康でたくましく育つように努めていますか。	3.2	3.0	83%	3.1	89%	15	39	7	0	6	3.2			2.9	3.2		
		保護者	学校は、授業や学校行事・部活動を通して、心身ともに健康でたくましい生徒の育成に努めていますか。	3.1	2.9	82%	3.1	94%	12	48	3	1	6	3.2			3.2	2.8		
		教職員	教育活動全体を通して、生徒に「夢や目標に向かって学び続ける力」を育成できたか。	3.1	3.4	3.1	2	8	1	0										
		生徒	あなたは、学校生活を通して、夢や目標に向かって自主的・継続的に学ぶようになりませんか。	3.2	3.2	92%	3.0	83%	16	36	9	2	4	2.9			3.2	3.0		
		保護者	お子さまは、学校生活を通して、夢や目標に向かって自主的・継続的に学ぶようになりませんか。	2.9	2.7	62%	3.0	86%	12	44	7	2	5	2.8			3.1	3.2		
4 安心・安全な学びの環境づくり	(1)人権教育・道徳教育の推進 (2)生徒理解と組織的な支援 (3)教育環境・生活環境・職場環境の整備と快適化	教職員	特別支援教育や教育相談の観点から、教科指導・生徒指導、個別の支援の充実を図ることができたか。	3.2	3.3	3.4	4	7	0	0					3.0 (A)	・評点の高い方から順に、保護者(3.2)→生徒・教職員(3.1)となっており、保護者・生徒は自他を大切にし、思いやりのある人間関係をつくる力が高まったと感じていることがうかがえる。教職員は「自他の人権を尊重する」意識をもう少しもたせる必要があると感じている。 ○教科指導等、人権意識へのアプローチができる場面を活かして、生徒へのアプローチを今後も行っていき。また、人権意識が高められるきっかけづくりのために、引き続き講演会等の開催を継続する。 ・限られた予算のなかで会計処理をやりくりし、施設・設備の修繕をした。概ね肯定的な評価をいただいたが、警備員により校舎周辺の草刈りなどが行われ、環境整備がなされた。寮については予算がなかなかつかず整備に苦慮している。 ○安全点検について教職員による点検だけでなく、清掃時や保健委員会の活用など生徒目線も交えながらチェックができる体制を整えたい。また、校舎内外の改修工事の必要性を雲南市と協力しながら、県教育施設課に引き続き要望していき。				
		生徒	あなたは、悩みがあるとき、担任をはじめとする教員、養護教諭、図書館司書、教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどに相談ができていますか。	3.0	3.0	76%	2.8	75%	10	35	10	5	7	3.0			2.8	2.7		
		保護者	あなたは、お子さまの悩みや問題について、必要ときに教職員(教育相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを含む)に相談ができていますか。	2.8	2.6	60%	2.9	80%	8	39	8	4	11	3.1			2.9	2.5		
		教職員	教育活動全体を通して、生徒に「自他の人権を尊重しながら、思いやりのある人間関係を築いていく力」を育成できたか。	3.2	3.2	3.1	3	6	2	0										
		生徒	あなたは、学校生活を通して、自他を大切にし、思いやりのある人間関係をつくる力が高まりましたか。	3.3	3.1	92%	3.1	90%	15	41	6	0	5	3.3			2.9	3.2		
		保護者	お子さまは、学校生活を通して、自他を大切にし、思いやりのある人間関係をつくる力が高まりましたか。	3.2	2.9	77%	3.2	96%	14	50	3	0	3	3.2			3.0	3.3		
		教職員	施設・設備の充実と保全、校舎内外(寮を含む)の適切な環境整備がなされたか。	(3.5)	3.3	3.5	6	5	0	0										
		生徒	学校は、生徒の環境安全に配慮し、施設・設備の点検や保全を行っていますか。	3.1	3.0	87%	3.1	87%	16	37	8	0	6	3.3			3.1	3.0		
		保護者	学校は、学ぶ環境に配慮し、施設・設備の点検や保全、美化活動を行っていますか。	3.1	3.0	88%	3.1	93%	8	44	3	1	14	3.2			3.0	2.8		

※アンケート回答数は、生徒67/70、保護者70/70、教職員11/11
※「0:わからない」の回答は評点・3以上の割合の集計から除く

S:達成できている(評点3.5以上)
A:概ね達成できている(評点:3.0以上3.5未満)
B:まだ達成できているとは言えない(評点2.5以上3.0未満)
C:達成できていない(評点2.5未満)
※評価(評点)は、教員・生徒・保護者の評点の平均値